

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限（2017年1月23日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド （年1回決算型）

愛称：グローバル・トップ年1



第4期（決算日：2020年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）」は、去る4月20日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		分	金	期 騰 落	中 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)			
(設定日) 2017年1月23日	円 10,000		円 —		% —	437.43	% —	% —	百万円 10
1期(2017年4月20日)	9,693		0	△3.1	422.92	△3.3	97.4	—	71
2期(2018年4月20日)	9,815		0	1.3	448.58	6.1	97.4	—	757
3期(2019年4月22日)	10,379		0	5.7	459.63	2.5	98.2	—	695
4期(2020年4月20日)	11,031		0	6.3	475.93	3.5	97.6	—	610

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2019年4月22日	円 10,379	% —	459.63	% —	% 98.2	% —
4月末	10,360	△0.2	456.10	△0.8	97.3	—
5月末	10,232	△1.4	455.64	△0.9	98.0	—
6月末	10,261	△1.1	459.55	△0.0	98.1	—
7月末	10,305	△0.7	460.69	0.2	97.2	—
8月末	10,358	△0.2	464.28	1.0	98.1	—
9月末	10,438	0.6	467.48	1.7	98.0	—
10月末	10,526	1.4	470.06	2.3	98.0	—
11月末	10,605	2.2	470.90	2.5	97.9	—
12月末	10,616	2.3	472.81	2.9	97.1	—
2020年1月末	10,709	3.2	475.35	3.4	97.3	—
2月末	10,832	4.4	484.79	5.5	98.0	—
3月末	11,075	6.7	480.58	4.6	97.3	—
(期末) 2020年4月20日	11,031	6.3	475.93	3.5	97.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第4期：2019年4月23日～2020年4月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	10,379円
第4期末	11,031円
既払分配金	0円
騰落率	6.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.3%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国やシンガポールの金利が低下したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルやシンガポールドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 債券市況

米国とシンガポールの長期金利は低下しました。

2019年8月にかけて、米中通商問題に対する懸念の高まり等から、米国とシンガポールの長期金利は低下基調で推移しました。その後、米中通商問題や英国の欧州連合（EU）からの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、2020年1月にかけて米国とシンガポールの長期金利は概ね横ばいで推移したものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への悪影響などから、期末にかけて低下しました。

▶ 為替市況

米ドルとシンガポールドルは対円で下落しました。

2019年8月にかけては、米中通商問題に対する懸念の高まりなどを背景に、米ドルとシンガポールドルは対円で下落したものの、その後、上記懸念後退による投資家のリスクセンチメント改善などから、2020年1月にかけて、対円で上昇基調で推移しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によるリスクセンチメント悪化などが米ドルとシンガポールドルの下落要因となった一方、世界的な米ドル需要の高まりなどを受けて、米ドルは対円で乱高下しながら下落、シンガポールドルは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。期を通じて、米国とシンガポールの2カ国で運用しました。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

投資国

期を通じて、米国とシンガポールの2カ国で運用しました。

通貨

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国（米国、シンガポール）の中で、米国へ重点配分しました。

金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

組入比率

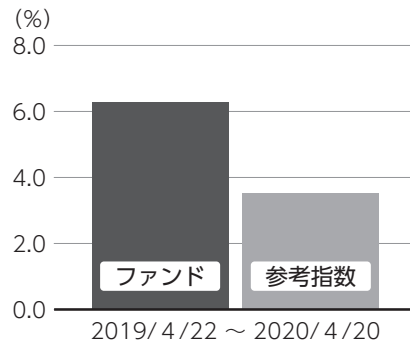
期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期 2019年4月23日～2020年4月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,063

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投

資する方針です。

通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

2019年4月23日～2020年4月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	125	1.193	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(63)	(0.597)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(57)	(0.543)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.037	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.031)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	129	1.230	

期中の平均基準価額は、10,503円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

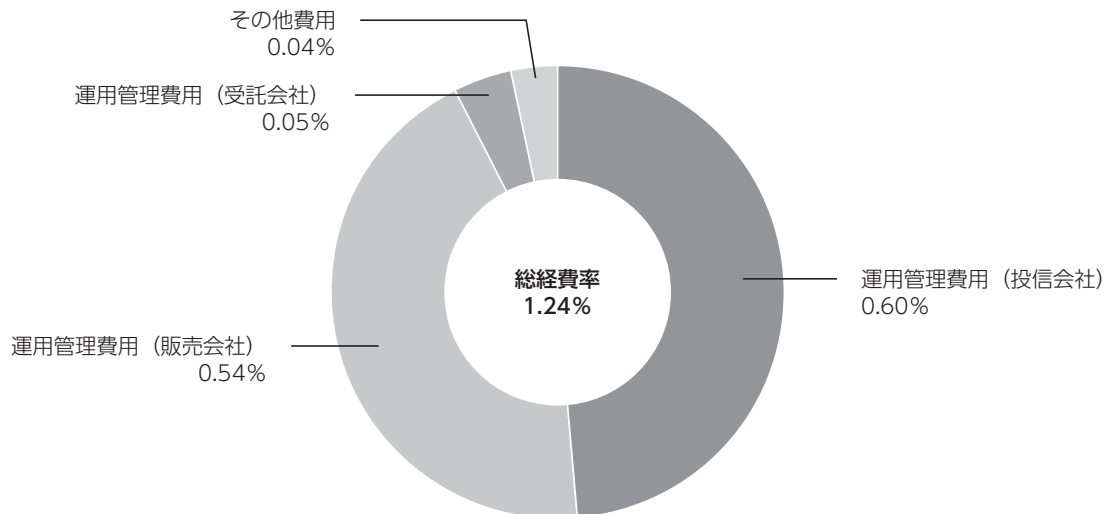
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.24%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月23日～2020年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 22,603	千円 52,931	千口 76,906	千円 187,797

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月23日～2020年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）>
該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 35,622	百万円 20,262	% 56.9
貸付有価証券（公社債）	457,841	457,841	100.0	458,459	458,459	100.0

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年4月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 295,587	千口 241,283	千円 609,434

○投資信託財産の構成

(2020年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 609,434	% 98.9
コール・ローン等、その他	6,755	1.1
投資信託財産総額	616,189	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（181,602,841千円）の投資信託財産総額（182,683,980千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.89円	1 シンガポールドル=75.82円		
------------------	-------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	616,189,303
コール・ローン等	5,849,147
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	609,434,364
未収入金	905,792
(B) 負債	5,321,319
未払解約金	1,175,814
未払信託報酬	4,132,041
未払利息	6
その他未払費用	13,458
(C) 純資産総額(A-B)	610,867,984
元本	553,770,622
次期繰越損益金	57,097,362
(D) 受益権総口数	553,770,622口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,031円

<注記事項>

- ①期首元本額 670,064,823円
 期中追加設定元本額 89,937,964円
 期中一部解約元本額 206,232,165円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1031円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年4月23日～ 2020年4月20日
費用控除後の配当等収益額	11,800,754円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	18,762,576円
収益調整金額	10,583,241円
分配準備積立金額	17,753,900円
当ファンドの分配対象収益額	58,900,471円
1万口当たり収益分配対象額	1,063円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2019年4月23日～2020年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,300
受取利息	25
支払利息	△ 1,325
(B) 有価証券売買損益	44,235,796
売買益	51,186,804
売買損	△ 6,951,008
(C) 信託報酬等	△ 8,410,811
(D) 当期損益金(A+B+C)	35,823,685
(E) 前期繰越損益金	12,493,545
(F) 追加信託差損益金	8,780,132
(配当等相当額)	(10,478,671)
(売買損益相当額)	(△ 1,698,539)
(G) 計(D+E+F)	57,097,362
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	57,097,362
追加信託差損益金	8,780,132
(配当等相当額)	(10,583,241)
(売買損益相当額)	(△ 1,803,109)
分配準備積立金	48,317,230

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第17期》決算日2020年4月20日

[計算期間：2019年4月23日～2020年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第17期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、FTSE世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとし、ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	期 騰 落			
13期(2016年4月20日)	円	%	439.03	%	%	%	百万円 320,502
14期(2017年4月20日)	21,186	△7.9	422.92	△5.4	97.3	—	272,303
15期(2018年4月20日)	21,256	0.3	448.58	6.1	97.7	—	222,771
16期(2019年4月22日)	21,931	3.2	459.63	2.5	98.4	—	203,832
17期(2020年4月20日)	23,472	7.0	475.93	3.5	97.8	—	182,121

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	FTSE 世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2019年4月22日	23,472	—	459.63	—	98.4	—
4月末	23,432	△0.2	456.10	△0.8	97.6	—
5月末	23,168	△1.3	455.64	△0.9	98.3	—
6月末	23,257	△0.9	459.55	△0.0	98.4	—
7月末	23,381	△0.4	460.69	0.2	97.5	—
8月末	23,525	0.2	464.28	1.0	98.3	—
9月末	23,731	1.1	467.48	1.7	98.2	—
10月末	23,957	2.1	470.06	2.3	98.2	—
11月末	24,160	2.9	470.90	2.5	98.2	—
12月末	24,211	3.1	472.81	2.9	97.4	—
2020年1月末	24,450	4.2	475.35	3.4	97.6	—
2月末	24,753	5.5	484.79	5.5	98.2	—
3月末	25,342	8.0	480.58	4.6	97.6	—
(期末) 2020年4月20日	25,258	7.6	475.93	3.5	97.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

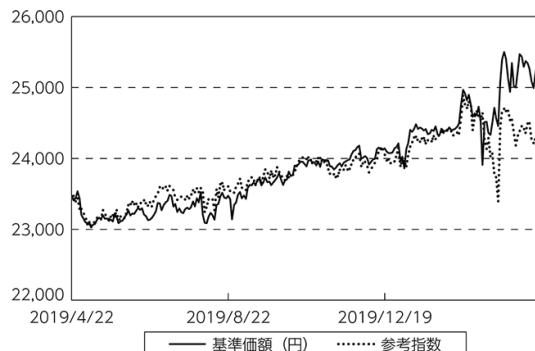
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国やシンガポールの金利が低下したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米ドルやシンガポールドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・米国とシンガポールの長期金利は低下しました。2019年8月にかけて、米中通商問題に対する懸念の高まり等から、米国とシンガポールの長期金利は低下基調で推移しました。その後、米中通商問題や英国の欧州連合（EU）からの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、2020年1月にかけて米国とシンガポール

の長期金利は概ね横ばいで推移したものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への悪影響などから、期末にかけて低下しました。

◎為替市況

- ・米ドルとシンガポールドルは対円で下落しました。2019年8月にかけては、米中通商問題に対する懸念の高まりなどを背景に、米ドルとシンガポールドルは対円で下落したものの、その後、懸念後退による投資家のリスクセンチメント改善などから、2020年1月にかけて、対円で上昇基調で推移しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によるリスクセンチメント悪化などが米ドルとシンガポールドルの下落要因となった一方、世界的な米ドル需要の高まりなどを受けて、米ドルは対円で乱高下しながら下落、シンガポールドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

(投資国)

- ・期を通じて、米国とシンガポールの2カ国で運用しました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国(米国、シンガポール)の中で、米国へ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

○今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年4月23日～2020年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.031)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	8	0.033	
期中の平均基準価額は、23,901円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月23日～2020年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 88,880	千アメリカドル 328,310
		特殊債券	9,953	—
国	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 99,315	千シンガポールドル 183,164

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月23日～2020年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	—	—	—	35,622	20,262	56.9
貸付有価証券 (公社債)	457,841	457,841	100.0	458,459	458,459	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年4月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 1,005,000	千アメリカドル 1,163,331	千円 125,511,805	% 68.9	% —	% 28.3	% 32.7	% 7.9
シンガポール	千シンガポールドル 620,000	千シンガポールドル 694,623	52,666,382	28.9	—	17.2	7.5	4.2
合 計	—	—	178,178,188	97.8	—	45.4	40.3	12.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
国債証券	1.625 T-NOTE 261031	1.625	30,000	32,149	3,468,579	2026/10/31
	1.75 T-NOTE 220430	1.75	105,000	108,264	11,680,693	2022/4/30
	2.25 T-NOTE 210215	2.25	25,000	25,440	2,744,767	2021/2/15
	2.375 T-NOTE 270515	2.375	70,000	78,974	8,520,528	2027/5/15
	2.5 T-NOTE 230815	2.5	50,000	53,710	5,794,873	2023/8/15
	2.625 T-NOTE 230228	2.625	110,000	117,416	12,668,056	2023/2/28
	2.75 T-NOTE 231115	2.75	70,000	76,119	8,212,536	2023/11/15
	2.75 T-NOTE 240215	2.75	30,000	32,786	3,537,359	2024/2/15
	2.75 T-NOTE 250228	2.75	100,000	111,453	12,024,677	2025/2/28
	2.75 T-NOTE 280215	2.75	25,000	29,179	3,148,196	2028/2/15
	3 T-BOND 470515	3.0	30,000	41,950	4,526,069	2047/5/15
	3 T-BOND 480215	3.0	55,000	77,292	8,339,054	2048/2/15
	3 T-BOND 480815	3.0	20,000	28,228	3,045,532	2048/8/15
	3.125 T-NOTE 210515	3.125	80,000	82,553	8,906,656	2021/5/15
	3.5 T-BOND 390215	3.5	60,000	85,673	9,243,307	2039/2/15
	4.5 T-BOND 360215	4.5	40,000	61,546	6,640,292	2036/2/15
	6.25 T-BOND 300515	6.25	20,000	30,953	3,339,532	2030/5/15
特殊債券	1.125 INTL FINAN 210720	1.125	5,000	5,040	543,804	2021/7/20
	1.625 IBRD 250115	1.625	10,000	10,462	1,128,783	2025/1/15
	2 EIB 210315	2.0	10,000	10,132	1,093,151	2021/3/15
	2.25 IBRD 210624	2.25	10,000	10,201	1,100,653	2021/6/24
	2.5 IADB 230118	2.5	20,000	21,078	2,274,150	2023/1/18
	2.5 IBRD 271122	2.5	10,000	11,221	1,210,636	2027/11/22
	2.5 INTL BK RECON 241125	2.5	10,000	10,856	1,171,255	2024/11/25
	2.75 ASIAN DEV 230317	2.75	10,000	10,646	1,148,655	2023/3/17
小	計				125,511,805	
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル		
国債証券	1.25 SINGAPORGOVT 211001	1.25	30,000	30,287	2,296,367	2021/10/1
	1.75 SINGAPORGOVT 220401	1.75	30,000	30,689	2,326,867	2022/4/1
	1.75 SINGAPORGOVT 230201	1.75	45,000	46,409	3,518,788	2023/2/1
	2.125 SINGAPORGOVT 260601	2.125	30,000	32,403	2,456,867	2026/6/1
	2.25 SINGAPORGOVT 210601	2.25	40,000	40,782	3,092,106	2021/6/1
	2.25 SINGAPORGOVT 360801	2.25	20,000	22,552	1,709,944	2036/8/1
	2.375 SINGAPORGOVT 250601	2.375	40,000	43,294	3,282,558	2025/6/1
	2.625 SINGAPORGOVT 280501	2.625	30,000	33,947	2,573,922	2028/5/1
	2.75 SINGAPORGOVT 230701	2.75	45,000	48,043	3,642,638	2023/7/1
	2.75 SINGAPORGOVT 420401	2.75	40,000	50,072	3,796,511	2042/4/1
	2.75 SINGAPORGOVT 460301	2.75	40,000	51,294	3,889,132	2046/3/1
	2.875 SINGAPORGOVT 290701	2.875	40,000	46,469	3,523,340	2029/7/1
	2.875 SINGAPORGOVT 300901	2.875	35,000	40,956	3,105,294	2030/9/1
	3 SINGAPORGOVT 240901	3.0	30,000	33,004	2,502,423	2024/9/1
	3.125 SINGAPORGOVT 220901	3.125	50,000	52,975	4,016,634	2022/9/1
	3.375 SINGAPORGOVT 330901	3.375	40,000	50,305	3,814,155	2033/9/1

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
シンガポール 国債証券 3.5 SINGAPORGVOT 270301	%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円	
小 計	3.5	35,000	41,134	3,118,827	2027/3/1
合 計				52,666,382	
				178,178,188	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○有価証券の貸付及び借入の状況

2020年4月20日決算日時点の貸付有価証券はありません。

○投資信託財産の構成

(2020年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 178,178,188	% 97.5
コール・ローン等、その他	4,505,792	2.5
投資信託財産総額	182,683,980	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（181,602,841千円）の投資信託財産総額（182,683,980千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.89円	1 シンガポールドル=75.82円	
------------------	-------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	182,683,980,945
コール・ローン等	3,425,853,441
公社債(評価額)	178,178,188,752
未収利息	1,048,505,691
前払費用	31,433,061
(B) 負債	561,987,579
未払解約金	561,986,349
未払利息	1,230
(C) 純資産総額(A-B)	182,121,993,366
元本	72,103,773,701
次期繰越損益金	110,018,219,665
(D) 受益権総口数	72,103,773,701口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,258円

<注記事項>

- ①期首元本額 86,840,393,325円
 期中追加設定元本額 442,073,989円
 期中一部解約元本額 15,178,693,613円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,5258円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	45,122,742,263円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	21,051,887,124円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	4,462,536,357円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	1,198,139,577円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	241,283,698円
外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	27,184,682円
合計	72,103,773,701円

○損益の状況 (2019年4月23日～2020年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,738,765,304
受取利息	4,681,366,699
その他収益金	57,875,777
支払利息	△ 477,172
(B) 有価証券売買損益	9,032,097,852
売買益	18,802,703,469
売買損	△ 9,770,605,617
(C) 保管費用等	△ 62,863,143
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,708,000,013
(E) 前期繰越損益金	116,991,841,420
(F) 追加信託差損益金	593,163,107
(G) 解約差損益金	△ 21,274,784,875
(H) 計(D+E+F+G)	110,018,219,665
次期繰越損益金(H)	110,018,219,665

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。